

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく小祿教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	非常に高い満足度と信頼関係	保護者評価はほぼ全項目で高評価となっており、安心感・満足度ともに非常に高い。 「通所を楽しみにしている」「安心して任せられる」といった声が多く見られる。	情報発信の改善 SNSの活用方法を見直し、継続的に確認できる形での情報発信を強化する。
2	個別支援の質と成果	子ども一人ひとりに応じた支援により、成長実感や行動の変化が見られている。	活動内容の多様化 学習だけでなく、子どもが主体的に参加できる活動の幅を広げる。
3	柔軟で丁寧な対応力	送迎・利用調整・相談対応などにおいて、柔軟かつ迅速な対応が高く評価されている。	参加しやすい仕組みづくり 家庭状況に応じてイベント等に参加しやすい形を検討する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部説明不足(計画・マニュアル) 支援計画や安全マニュアルの説明が十分に伝わっていない部分がある。	日常的な支援は充実しているが「説明・見える化」が不足している	説明・見える化の強化 支援計画や安全対策について、分かりやすく説明・共有する機会を増やす。
2	非常時対応の周知 訓練や安全対策の内容が保護者に十分伝わっていない。	安全対策が内部完結になっている	安全管理の周知徹底 訓練の実施と合わせて、保護者への情報発信を強化する。
3	活動参加意欲のばらつき 学習への負担感や通所意欲に個人差が見られる。	子どもの発達段階や意欲に応じた調整の難しさ	個別に応じた活動調整 学習量や活動内容を調整し、意欲を大切に支援を行う